

# 震災被害は産業2兆円、建築4兆円



## 宮城県職員が講演

県不動産鑑定士協会の市民講座 幅広い支援訴え

県不動産鑑定士協会（水野雅文会長）の第3回市民公開講座が、岐阜市藪田南の水産会館で行われ、東日本大震災を受け、宮城県危機対策課の伊勢博之さんと、名古屋大学地震火山・防災研究センター長の山岡耕春教授が講演した。

より公益性の高い活動をしようと昨年春から開催。市民や行政関

宮城県の被災状況などが報告された市民公開講座。岐阜市藪田南、水産会館

係者ら約200人が参加した。伊勢さんは震災での宮城県の被災状況について説明したほか、被害額が現段階で産業関係で約2兆円、建築物で約4兆円に上ると述べた。

発生初期の課題とし

て、県と市町村間の情報伝達が通信網の切断や機器が損失したことにつながりにくくなったことや、飲料水の確保などを挙げ、「幅広い人的、物的支援が必要。宮城県の事案から防災に役立ててほしい」と語った。

（中村芳紀）